# ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA (S-14)

MISSION
66
2015.11

PHOTO: Shunya Arai (yard)
STYLING: Yumeno Ogawa
HAIR: KANADA (LAKE TAJO)

男の子みたいなルックスの内に秘めたフェミニンさ。どちらにも偏らないリアルなメイクは、アイテムの意外な使い方で実現しました!

デニムジャケット ¥28,000(ナナナナサーカ)、バングル ¥12,000(シンク ワークショップ)、左手のリング ¥8,500(アメリア ローズ)、右手のリング 中指 ¥19,000(スコッチャ)、小指 ¥17,000(クリステン エルスペス)| 以上ビームス 原宿)/ピアス*本人私物



## 今月のミューズが生まれるまで

**夏美さん**
**美容学生**
2015. 9. 11 at Omotesando
Photo: UDA

ベリーショートに、彫りの深い目鼻立ち。服のセンスの良さもあって、街でも目を引いていた夏美さん。普段のメイクは、カラーマスカラやリップを塗る程度。

「ボーイッシュな魅力とはっきりした顔立ちをもつ彼女には、実はメイクがいらないくらい(笑)。スキントーンのナチュラルメイクが間違いないけれど、キレイにまとめすぎないのがキャラに合いそう」(UDAさん)

そこで目元に使ったのが、グレー。

「鮮やかな色だと目立ちすぎるし、シックな色だとクラシカルになる。そのハードルをかわしつつ、左右をアンバランスに塗って、ラフにしました」(UDAさん)

眉毛には赤みをまぶし、話してみてわかったフェミニンなムードをプラス。

「目元と眉のアイテムは、ブランドが提案している使い方とは違うけれど、それがかえって新鮮。ルールにとらわれすぎないことも、新しいメイクを発見するポイントです」(UDAさん)

メイクは目元からスタート。マットなペールグレーのジェルカラー(1)を上瞼の二重幅に、目の際からさっと広げる。右目は目の幅いっぱいに、左目は目尻よりの半分と、左右をあえてそろえずに塗る。マスカラとアイラインは今回なし。アイブロウは、眉毛を染めるように、赤のパウダー(2の右)を。もともと毛が重なっている部分は若干濃く、強弱をつけると自然に仕上がる。ベースメイクはこのタイミングで。色ムラを整える色付きのベースカラーやニキビをカバーするコンシーラーを必要なところだけに使い、肌色をフラットに。唇はリップコンシーラーを塗って血色感を抑え、シアーなパープルで深みをプラス。アイゾーンのメイクにトーンを合わせつつも、何もしていないような唇が目標。
手元のネイルは、パープル(3)。ペタッと爪全体に塗らずに、丸い点を爪の先に描いてカジュアルに。

### UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティ、女優やアーティストを担当。緻密な理論に基づくテクニックは日々進化中。本企画では、モデルハントやディレクションも。最近は素肌感のある新感覚のベースメイクに注目。

3

2

1

**1:** ふんわりと色が広がるジェルタイプのアイブロウカラー。スージ ジェル #01 ¥3,000*限定発売中(ランコム)
**2:** 光沢のあるレッド&ゴールド入りのハイライトカラーのセット。ドライとウェットの使い分けで、テクスチャーが変化する。デュアルインテンシティーブラッシュ #5507 ¥4,600 *11/6限定発売(NARS JAPAN)
**3:** メタリックなパープル。ネールポリッシュ R #3683 ¥2,000*11/6限定発売(NARS JAPAN)



**美人化モデル募集中** 『ニッポン美人化計画』では、街でのハントに加え、ページに登場してくれるモデルさんの募集を本格スタートしました! 自薦・他薦は問いません。UDAさんのメイクアップで、新しい自分を発見してみませんか? 受け付けはFacebookから。https://ja-jp.facebook.com/mhginza